

みんな来て来て!!!

『地区ボラセンへ行こう月間』開催中

●7月・8月は「地区ボラセンへ行こう月間」、やっています!

市内13の地区ボラセンが、この夏休み、みなさんを待っています。

気になっていたけど見たことない、行ったことないという方、夏休みにお子さんと一緒に覗いてみようかな?という方、それから、仕事や学校が休みの時なら...というあなたも。いつでも待っているけれど、この機会にぜひ!

特別号

令和4年(2022年)7月1日発行

社会福祉法人
茅ヶ崎市社会福祉協議会

茅ヶ崎市新栄町13-44
さがみ農協ビル2階

TEL 0467 (85) 9650

FAX 0467 (85) 9651

Eメール
eboshi@shakyo-chigasaki.or.jp

URL
http://www.shakyo-chigasaki.or.jp/

地区ボランティアセンターって...?



- *ちょっとした困りごとの手助けなど、同じ地区に暮らす人同士の支え合い活動です。
- *近いから「空いた時間に手伝える」、活動は普段やっていることだから「誰でもできる」、同じ地区の人同士だから「顔見知りの仲間ができる」...そんな活動です。
- *それぞれのセンターで、地区の方からのご相談・ご依頼を受け、お手伝いに伺います。

〈利用できる方〉日常生活に支障があり、手助けを必要とする方(高齢、出産・育児、体の調子が悪いなど)
 〈活動内容〉草取り、お掃除、買い物、電球交換などの簡単な補修、お話相手・見守りなど...



つるみね東
ボランティア
センター
☎ 86-7639
〈受付時間〉
火・金
9時30分~12時



湘北地区ボランティアセンター
☎ 27-2030
〈受付時間〉
月・木
10時~12時



小出ボランティアセンター
☎ 98-0901
〈受付時間〉
火・金
9時30分~12時



ふれあい・支えあい
松林サポートセンター
☎ 52-1349
〈受付時間〉
火・金
9時30分~12時



つるみね西
ボランティア
センター
☎ 73-8280
〈受付時間〉
水・金
10時~12時



ボランティアセンター湘南
ハート&ハート
☎ 85-3000
〈受付時間〉
火・水・金
9時30分~12時



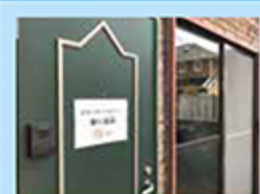
みんなのこわだ
ボランティア
センター
☎ 55-1341
〈受付時間〉
月・水・金
10時~12時



ボランティア
センター
ちがさき
☎ 58-0707
〈受付時間〉
火・金
9時30分~12時



南湖
ボランティア
センター
☎ 85-1510
〈受付時間〉
火・金
9時30分~12時



ボランティアセンター
茅ヶ崎南
☎ 38-8445
〈受付時間〉
火・金 10時~12時



ボランティアセンター
海岸
☎ 85-5540
〈受付時間〉
水・金 10時~12時



サポートはますか
☎ 88-5116
〈受付時間〉
月・火・木・金
9時30分~12時



まつなみ
ボランティアセンター
☎ 84-0301
〈受付時間〉
火・水・木・金 9時~12時



こちら
check!

市社協ホームページにも紹介しています。

●地区ボラセンは、みんなの拠点

ここでの活動をとおして知らない人と出会えたり、できることで自分を活かせたりする、地域みんなの福祉活動の拠点としてボランティアセンターがあります。

日頃の支援の受け付けや調整だけでなく、ちょっと相談したいことを聞いてくれる日があったり、地区の人たちが集まるサロンやいこいの場も開催したりしています。

ちょっと誰かと話をしに、普段と違う自分を見つけに、ほっと一息つきに...近くのボラセンにお問い合わせください。



もっと知ってほしい！身近な地区のこと ～地区社協はみんなの安心をささえています～

知ってる？「地区社協」

茅ヶ崎には、おおむね中学校区のエリアを一つの単位として設定された地区が13あります。そのそれぞれに「地区社協（＝地区社会福祉協議会）」は組織されていて、地区に暮らす人たちの福祉、安心を支える活動に取り組んでいます。

自治会をはじめ、民生委員児童委員、学校、子ども・青少年関係の団体、ボランティアなど、地区の関係者とそこに住む住民で構成されています。

どんなことしてるの？

一般的に地区社協の活動は、次のような目的で展開されます。

- ①福祉の理解をすすめる活動
- ②課題を把握・発信する活動
- ③生活を支える活動
- ④住民の交流をすすめる活動

市内13地区それぞれに土地柄があるように、そこに住む人たちの困りごとさまざまです。そのため、すべての地区で同じようにしていることもあれば、地区にあった形で取り組みをしていることもあります。いずれも、「この地区の人たちの安心のために、どんなことが必要か？」を考えて活動しています。

少しでもご紹介します。知っている活動、あるでしょうか？

①福祉の理解をすすめる活動

*例えば小和田地区では、認知症になっても安心して暮らせる地区になることを目指して「認知症高齢者声かけミニ模擬訓練」を実施。

街で困っている人への声のかけ方など、疑似体験で学びました。



あれ、振込み？大丈夫？

*「地区懇談会」は各地区で開催されています。いま自分たちの地区で考えたいテーマで、住民に参加をよびかけ、意見交換をしたり、学んだり、学んだりの取り組みに活かしています。



こんなサロン作りたいね！

②課題を把握・発信する活動

*地区の人の心配ごとを知るために、ヒアリングやアンケート調査などを行うこともあります。また、各地区の「ネットワーク会議」では、関係団体等とともに地区にいまある課題を共有します。そして、どんな活動をしたらいいかを考え、発信し、広く理解と参加をよびかけます。



地域で子どもを見守ろう！

③生活を支える活動

*各地区の「地区ボランティアセンター（地区ボラセン）」も、地区社協が運営する活動の一つです。日常でちょっとしたお困りの事を、地区の人同士で助け合っています。



地区ボラセンの活動は、その時助けるだけでなく、顔見知りの関係づくりや、地区の人がどんなことで困っていて、今後どんな手助けが必要になるか等の把握にもつながる大事な活動です。仲間と楽しみながら、身近でできるボランティア活動の場でもあります。

④住民の交流をすすめる活動

*ミニティ・サロン／子育てサロン活動、会場も、コミセンや自治会館、または外で…などさまざまですが、お茶飲み・おしゃべり、体操したり、子どもへの読み聞かせをしたりと内容もいろいろ。ほかに、長寿のお祝いや福祉まつり、季節の行事なども。



最近は、地区ボラセンでサロンをする地区も増えています。

こうした場合は、顔見知りのいる地区で安心して暮らし、一緒に育ち合うことを支える場です。

難しい時期でもありますが、感染予防をしながら、少しずつ再開しています。



紹介しきれないイロイロな活動は、今後、市社協のホームページやYouTubeチャンネル「ボラダス。」、また、LINEでも配信していきますよ。あなたの地区の楽しい素顔が見られるかも！



YouTube



Instagram

ここにある、このころ。
やさしさの見える街、茅ヶ崎



茅ヶ崎市は、市バリアフリー基本構想推進協議会の市民部会と協働で昨年12月から「ここにある、このころ。」を合言葉に「心のバリアフリー」推進に取り組んでいます。この取組は、今年11月までの間、日常生活の場面での様々な困りごと(バリア)と、それに気づいた人がとった行動を描いたポスター12種類を、月替わりで市内の公共施設等のほか民間施設に掲示するものです。

詳細はこちらをご覧ください。

